

平成20年度学生モニター会議報告

日時：2009年2月26日（木）14時50分～17時

場所：教育学部会議室

出席学生：各専修・コース学生代表者20名，大学院生4名，計24名

出席教職員：寿学部長，山口（充），山本（万），高橋（治），松野尾，渥見，渡邊（重），浅井，深田，福山，佐野，徳永，中宇禰，田中

会議内容

1. 昨年度寄せられた意見に関する対応について
2. 今年度の学部教育に関する意見交換
 - i. 授業内容，授業方法について
 - ii. カリキュラム
 - iii. 教員就職・一般就職に関する取り組み
 - iv. 学習環境

内容報告

1. 昨年度寄せられた意見に関する対応について

今年度の学生モニター会議開催に向けて，教務委員会FDワーキングでは，昨年度の学生モニター会議・学生代表者会議で学生から寄せられた意見を整理し，対応を検討するところからシンポジウムの準備を開始した。昨年度の会議で提出された意見は，授業内容やカリキュラム，学習環境や就職支援まで多岐にわたるものであった。そのため，今年度は学生就職委員会，自己点検評価委員会，教務委員会の共同での開催とすることとした。これまでの学部側の対応として紹介された回答を【資料1】に示す。

2. 今年度の学部教育に関する意見交換

今年度の学生モニター会議の進行は，学生側からの意見をより集約したものとして扱えるよう，5つのグループに学生に分かれてもらい，議論した内容を発表してもらった形式とした。学生から提出された意見や質問，およびそれに対する学部からの回答は【資料2】に示されるとおりである。

3. 今年度の学生モニター会議のまとめ

今年度の学生モニター会議で学生から多岐にわたる意見や質問が提出された。【資料2】に基づく議論の内容を【資料3】に総括した。

【資料1】

平成19年度学生モニター会議（2008.1）、平成20年度学生代表者会議（2008.11）で出された意見への回答

① 愛媛大学教育学部・教育学研究科の講義内容や授業方法などについて

★授業内容・方法の改善について

- ・実践的な授業の展開について・・・実践的な授業を多く取り入れてほしいという意見がありました。このような声に対応するために、現3回生からは実践中心のカリキュラムが大幅に導入されています。教員養成系では、3回生の教育実習に加えて、1回生の観察実習、2回生のふるさと実習、プレ教育実習を新たに開始し、3回生の実習も4週間から5週間へと延長しました。さらに実践入門、実践省察研究、教職教養課題特講などの教育実践を意識した科目を多数新設したり、フレンドシップ事業も、地域連携実習と教育実践演習を組み合わせる形に改編しています。
- ・内容の充実や改善について・・・現在教育学部では、授業内容の改善や各授業間の内容の関連性、1年から4年までの一連の教育内容を充実したものにするために様々な努力をしています。その一例として、各年度の終了時にはすべての教員が最低1つの授業について、授業評価・授業研究報告書を作成することを義務づけていますし、教員相互による授業参観とその後討論会を開催したり、授業改善に関するFDシンポジウムを開催したりして、より良い授業を行えるよう努力をしています。さらに、各課程、コース、専修などでカリキュラムマップを作成中です。カリキュラムマップというのは、その課程やコースでどのような学生を育成したいのかというディプロマポリシー（DP）に基づいて、4年間の教育場面におけるそれぞれの授業の位置づけを明確にしようとするものです。
- ・受講者に求める努力・・・上述のように、授業内容や方法に関し、教員の方では様々な改善を行う方向で努力しています。しかしながら教育というのは教員の努力だけではうまく行きません。大学設置基準では大学の2単位を取得するために要する学生の学習時間を90時間と定めています。これは、1回の大学の授業に対し、学生は授業以外に4時間の予習や復習を必要とすることを意味しています。ですから、学生の皆さんもより質の高い、内容の濃い授業を実現するために努力をお願いします。

② シラバスの活用状況等について

★シラバスへのアクセス方法の改善

オンラインだけではシラバスを活用しにくいという意見がありました。とりわけ1回生は、オンライン・アクセスが非常に難しいという現状を踏まえて、平成21年度の1回生については、印刷物を配布する方向で進めています。

★シラバスどおりの授業

シラバスと全く同一の進度の授業は、現実的には難しいこともあります。しかし、シラバスと全く違う授業ではシラバスの意味がありません。この件については、どのように具体策を講じるか、教育部で真摯に議論を進めます。

★シラバスがない

平成21年度より、シラバスの提出状況について厳密に確認をする体制をとることになりました。そのため、来年度からは非常勤講師も含めて、すべてのシラバスがそろふことになる予定です。

③ カリキュラムについての要望

★履修の手引きが分かりにくい

履修の手引きが理解しにくいという学生からの意見をもとに昨年度入学生から履修の手引きの体裁を大幅に修正しました。今後も学生の皆さんからの意見をもとにより利用しやすい履修の手引きに改良していきますので、気がついた点がありましたらどしどしご意見をお寄せください。

★履修説明／履修情報

愛媛大学では来年度から、全学生を対象に各学期のはじめに履修に関するガンダンスを行う方向で計画を進めています。また、履修のしかたがよくわからない学生は教育支援課の窓口気軽に相談に行ってください。

★介護等体験による欠席の取り扱いについて

介護等体験で授業に出席できない場合は、教育学部では学部の方針として、公欠扱いにはならないが出席できない理由を考慮するという方針をとっています。「公欠」というと授業に出席しなくて良いと考えられがちですが、たとえ公欠で欠席の扱いにならないとしても、出席できなかった回の授業は特別に補講をするということはありません。出席できなかった回の授業内容は担当教員を訪ねて内容をフォローするか友人にその回のノートを見せてもらうなどしてリカバーしておく努力は必要となります。

★時間割

必修の授業が重なっているという指摘を受けました。これが事実であれば重大なカリキュラム上のミスですので、判明した場合には時間割を修正しています。ただし、複数免許を取得しようとする場合や、本来単位取得すべき学年で取得していない場合には、必修の授業が重なることがあります。現在の教育学部の過密な時間割のスケジュールではこれはどうしても避けられない場合がありますのでご了解ください。

★専修振り分け

入学直後に行っていた専修振り分けで様々な問題を生じていました。このような経緯を踏まえ、教育学部では、来年度から専修振り分け時期を半年遅らせて1年の前学期終了時に行うことにしました。入学直後の右も左もわからない緊張だらけの状態での専修振り分けと比較した場合、新入生は半年間の大学生活で様子が次第にわかりはじめ、また、様々な情報も入手することができ、半年間で自分の進みたい専修を検討できるというメリットがあります。

★生涯学習群の教員免許取得

意見の中に「生涯学習群でも小学校免許を取得させてほしい」というものがありました。多くの人が知っていると思いますが、学部案内等の中にも小学校教員の免許取得はできない旨の記述がなされています。これは、生涯学習群の各課程は、卒業要件に教員免許状取得を課していないことから分かるように、学校教育群とはその設置意図が異なるためです。

★教採サポート

教育学部では、教員採用試験対策講座を開催しています。教職教養課題特講でも、集団討論や面接の対策を行っています。専修によっては、集団討論の練習等を行っているところもありますので、活用してください。

④施設についての要望

★改築工事

1号館の改修工事は今年度中に終了予定です。ただし、来年度も3号館トイレや小規模な改修工事は行われます。なるべく教育環境に影響が出ないように工夫して行います。

★学生控室

今年度は1号館改修工事のため、学生の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。これを機に、教育学部では、学生の合同研修室を充実すべく、スペースの確保を行ってきました。今年度末にはほぼすべての専修やコースに合研室が設けられる予定です。特にこれまで遅れていた生涯学習群の学生のための合同研修室の充実を図る予定です。

★施設の夜間・休日使用

教育学部では休日に入棟する場合はカードキーでの入棟になっています。学生の場合は事前に総務チーム（本館1階事務室）に申し出ればカードキーを貸し出すことになっています。貸し出し用カードの枚数も十分用意しています。ただし、休日の入棟は警備上のこともあり、無制限に許されるものではありません。教育学部では最近、日曜日に不審者2名が侵入する出来事があり、現在、休日の警備には頭を痛めています。

す。学部によってそれぞれ事情が違うことから、工学部で行っている方法を教育学部でも行うことは考えていません。必要に応じて総務チームにカードを申し込み、どのくらいの学生が利用しているのかを事前に把握できる、今の方法が良いのではないかと思います。

★ゴミの管理に関して

ゴミ箱が少ないという指摘がありました。松山市と同様、大学でもゴミの分別を推進しています。しかしながら、従来どおりに教育学部内の各所にゴミ箱を設置すると、分別をしないでゴミを捨てることが心配されます。事実、すでに学生の研究室から出されるゴミには分別が十分でないことがしばしばあり、事務の方でその都度指導している状態です。ですから、教育学部では、ゴミはなるべく各専修（研究室）あるいはコースごとに注意し合ってゴミを出す習慣にする方向で取り組んでいます。これも教育の一環だと考えています。

★トイレ

3号館のトイレは来年度中に改修工事が行われる予定です。2号館、4号館のトイレはすでに改修済みですので、来年度ですべての建物のトイレがリニューアルということになります。

★掲示板に関して

昨年5月からの事務組織一元化に伴い、これまで各学部を設置していた掲示板もキャンパスの一カ所にまとめられました。学生の皆さんからの意見は一概に不便になったというものでした。この件に関しては教育学部の方からも全学に向けて改善をお願いするようにしますが、学生の皆さんからも全学の学生代表者会議等をつうじて改善を要望してみてください。

★暖房設備

昨年から冬季の教育学部全体を暖めるスチームの使用を停止しました。それに伴い、冬季の暖房設備はガスストーブかエアコンとなっています。従って、教育学部の基本方針としては、教育学部の全施設にエアコンを完備することになっています。ただし、予算的なこともありますので全室エアコン完備にはまだ時間を要しますが、順次その方向で作業が進んでいます。

★スポーツ関連の施設

第2体育館1階にあるトレーニング場は、これまで外壁が無く、トレーニングマシンも旧式で、故障が多いなど環境が劣悪で、正常な使用ができない状態でした。しかし、現在、学生と教職員の健康管理に役立てることを目的として、改修工事が進められています。設置されるトレーニングマシンも一新され、より利用しやすい環境が整備される予定です。これと並行して利用にあたってのルールを策定している最中です。4月以降、利用が可能となりますので、是非積極的にご活用下さい。また、山越グラウンドについても、少しずつではありますが、順次整備がされる予定です。

⑤大学全般に関しての意見・要望

★駐輪場

駐輪場に関し多くの意見が寄せられました。特にバイクの駐輪場がキャンパス西側に集まっているので不便だとの意見がありました。また、屋根付きの駐輪場設置に関する要望もありました。これら駐輪場に関する諸問題は、教育学部個別の問題ではなく、全学的な課題と考えられます。学内交通に関する委員会がありますので、教育学部の委員から要望を挙げていただくようお願いいたします。

【資料2】

口頭による学生からの意見（レコーダ音声からの書き出しによる）

（○：学生側からの意見・質問，●：学部側からの回答）

第1グループ

- 合同研修室の広さがコースによって差がありすぎるのではないかと人数に応じた広さにしてほしい。また、部屋の環境をしてほしい。研修室によっては流しから悪臭がするところもある。
 - ただいま整備中である。準備整備してゆく予定であるが現在は生涯学習群の合同研修室の整備を中心に行っている。理解してほしい。

 - 学生が自由に使用できるパソコンの部屋を増やしてほしい。現状の2号館3階の演習室は授業で使用している時間帯には利用できない。またプリンタももっと自由に使えるようにしてほしい。
 - 回答できる人が不在であったため該当する委員会に伝達する。

 - 印刷機を使えるようにしてほしい。
 - 3号館4階に学生用印刷機を準備している。ただし自由に使用できるようにすると機械の故障や多様な用途に使用されかねないので、1号館1階の教育学部事務課で所定の手続きを取っていただきたい。

 - 3号館のトイレをもっときれいにしてほしい。
 - 平成21年度に改修する計画である。

 - 掲示板の内容がWeb掲示板と異なっている。同じにしてほしい。
 - 教育学部チームでは使用したことがないのでよく分からないが、できる限り対処する。技術的な問題もあると思うので検討してみる。

 - 教育実習後の省察と事後指導の内容がかぶっていたり、授業の目的がはっきりしないものがある。
 - 持ち帰り検討を行う。

 - 教育学部の午後の授業開講時間が他学部と異なるのは何とかならないか。
 - これはスポーツの授業が山越グラウンドで行われることを想定するとやむを得ない措置である。山越から城北キャンパスまで移動時間を考えると30分は必要。時間を短縮して急いで移動し、事故でも起こしたら大変である。すぐに改善できるとはいえない。

 - 授業評価の方法はどうなっているのか。評価の中身を統一する必要があるのでは？
 - 全学的にWeb（携帯）入力の方で進んでいる。教育学部も参加する方向で検討している。しかしながら講義、実験・実習など授業形態が多岐にわたる教育学部では、項目作成は大変な作業である。引き続き検討を行う。

 - 教育学部施設の夜間や休日使用時の申請について、その方法や申請理由の具体的内容について教えてほしい。
 - 指導教員の同意のもと、教育学部事務部窓口で事前に申請（前日の午後3時まで）すれば使用可である。休日の場合はカード貸し出しで対応している。利用の理由に関しては、「勉強のため」でもOKである。
- #### 第2グループ
- 2号館3階の情報処理実習室は飲食禁止になっているが、食べ物のかすやゴミが散乱していて環境が非常に悪い。飲食禁止の徹底を。
 - 情報処理室の管理について、担当者がいないので持ち帰り検討する。
 - 管理を徹底的にすればよいのか？管理されると使いにくくなるが学生はそれでも良いのか？学生と一緒に考えましょう。お互いに困っているのだから。

 - 教育実習の事前指導の説明が分かりにくい。直前になって指導案を作成してといわれても困る。

●実習カリキュラム委員会に伝える。

○専修振り分けの説明が分かりにくい。21年度から専修振り分けの方法が変わるが、2, 3, 4年生への影響はないのか？

●1年生は後学期に専修が決定するので、前学期の専門科目でできないものは後ろに移す。第一、第二希望の教科をなるべく取るよう指導する。

○副免取得に関し、必修の時間帯が重複していることがある。時間割について4年間を通しての時間割計画のようなものはできないのか？

●教育学部は授業数が多く、時間枠（コマ）の制約が多すぎて4年間を通してのプラン提示することは非常に難しい。不可能に近い。専修振り分けで希望専修に入れなくても、副免で取得してほしい。ただし、4年間で副免を取れることは保証の限りではない。

○以前図書館にあった複数台のパソコンはどこに行ったのか？

第3グループ

○授業開始時の先生の遅刻による授業の遅れを何とかしてほしい。また、頭に残る授業が少ない。

●教員の問題なので対応を考える。宿題にさせてもらう。

○第3学年以上の手引きが分かりにくい。

●年々改善している。分からないことは学生支援課で聞いてほしい。

○教授対策・一般就職対策をしてほしい。

●学部でやっていることをもっと知ってほしい。講座や対策は行っている。自分の足で踏み出してほしい。他学部の学生からは好評である。インターンシップ参加者が減っている。皆さんもっと関心を示してほしい。

○休日の学内利用の方法を知らない学生もいる。ルールを学生に知らせてほしい。

●検討する。

○掲示板が遠くなった。工夫をしてほしい。

●学務係が図書館の一階に移って、別の学部からクレームがでた。だから他学部に関しては元に戻した。教育学部はしなかった。掲示板を2カ所におくと管理が難しい。混乱のもとになる。教育学部は掲示板が最も近いところにある。理解してほしい。

●掲示板を見ることを習慣づけてほしい。まずは学生生活の手引きを活用してほしい。ほとんどの内容は記載されている。

○資格が取れるようなカリキュラムを考えてほしい。

●なかなか大変なことである。

第4グループ

○授業によっては教科書を購入させても使用しないものがある。声が小さくて聞こえない。討論の時間は良かった。

●本当に申し訳ない。先生方に伝える。注意喚起をする。良い授業スタイルを増やしたい。

○英語圏（欧米）との協定を結んでほしい。

●欧米圏との協定は難しい。引き続き努力する。

○授業の選択の余地がない。

●これは教育学部の宿命であり、大変難しい。コマが多すぎる。検討するがすぐには解決できない。

○就職活動（最終面接）と期末試験の日程が重複している場合、考慮してほしい。

●丁寧に説明すれば企業側も理解できるのでは？教員側にも説明すれば理解してもらえる。

○研究室のパソコンがネットにつながっていない。

●研究室レベルの問題であるので教室の先生に相談してください。

第5グループ

○インターネットで深夜にシラバスの閲覧ができない。

●一時的な問題であるので、まもなく問題は解決されるものと思う。

○総務係の対応が怖い。名札をつけてほしい。

●総務に帰って話しておく。

○カード貸し出しの担当を増やしてほしい。

●誰でも担当できるようにする。印刷や施設夜間使用届けの対応について、分かりやすいように通知したい。

○大学院の実習量に差がある。費用がかかるのを何とかしてほしい。

●臨床心理のスーパービジョンについて、院生にも理解していただいているところである。講義の一環としてのスーパービジョンについては校費で払う。それ以外については自己負担をお願いしている。にわかには無理と思うが今後も検討して行きたい。

○大学院生の学部授業履修制限を緩めてほしい。

●教育コーディネータ会議で上限を緩和する方向で検討している。

○TAの支払い処理が煩雑。

●調書から採用まで、一連の書類作成は必要なものなのでしかたない。理解してほしい。

○レポート提出提示時期を揃えてほしい。

○アカハラ・パワハラへの相談窓口を様子の分かる学部単位で対応してほしい。

●全力で対応したい。

○実践的内容を増やしてほしい。

○専門職なので、学部で一括してみられると良い。

学生が発表に用いた資料内容（メモより）

- ・学生証で大学に入校できるようにしてほしい。
→夜、土日も入りたい。実習中など使えなくて困った。
- ・3Fのパソコン室を授業中も端でいいので使わせてほしい。
- ・コピー室にうらがみをおいてほしい。紙を切る機械も。
- ・空コマをすぐせる部屋がほしい。
- ・バイクおき場に屋根を。
- ・図書館の本を延滞した時の応処の方法を考えてほしい。
→キビシすぎる。
- ・生協のデポジットのシステムをもとにもどしてほしい。
→めんどくさがってデポをする学生がへっている。
- ・掲示板がとおい。急ぎのれんらくなど見落としてしまう。

疑問点について

- ・とりたい副免、とりはじめた副免が自分の主免の授業と同じ時間にある場合、副免をあきらめなければな

らないことがあります。1回生の時点から4年間のカリキュラム、時間割を教えてください。どの教科なら副免がとれるのか、難しいのか、副免のとりやすい組み合わせを教えてください。

- ・専修振り分けのやり方の変化、カリキュラムの変化などに伴い、1回生などの授業をおとしてしまった2, 3, 4回生はどうすればよいのか？
- ・改修前の図書館にたくさんおかれていたきれいなパソコンはどこに行ったのか？今は少ししかおかれていない。

-
- ・専修によって活動内容（範囲）が違う。（合研があつたりなかったり。パソコンの数）
 - ・パソコン室（2号3F）が汚なすぎる。
→飲食禁止の徹底を。
 - ・教育実習前の説明をもっと詳しくしてほしい。行ってから「指導案を書くところを決めて」と言われてもよく分からない。
 - ・就職に関してはセミナーなどがあり、充実している。
 - ・4回生が工事で部屋を使えずかわいそうだった。
 - ・ゴミの分別の作業が悪すぎる。

授業

- ×先生の遅刻によって授業時間内に終わらないのが大変迷惑である。
- ×頭に残っている授業が少ない。

カリキュラム

- ×3回生以上の履修のてびきが分かりにくい。
- △履修がWeb上になったのは便利だが、結局用紙を提出するため、二度手間である。

就職

- △一般就職に対する取り組みも行ってほしい。
- △教採サポートをもっと行ってほしい。

学習環境

- ×休日の学内利用の方法を公開するべき。
- ×掲示板が遠いため、めったに見ない。
- ×資格が取得できるような環境を整えてほしい。

-
- ・シラバスを24時間みれるようにして、書いてあることと授業内容を一致してほしい。
 - ・総務・支援課の対応をてきぱき。カードの貸し出しの担当を増やし、警備にも力を入れてほしい（名札つけ）。
 - ・学生間の実習量の差があり、授業料以外に費用がかかる。大学で負担を。
 - ・レポートの時期などを統一してほしい。
 - ・学部の授業に対する単位制限をゆるめる。
 - ・TAの事務書類を簡単に。
 - ・アカハラ・パワハラ対策を学部内で！相談したい。
 - ・授業に30分以上遅れてくる教員への対応を。
 - ・実践的授業を増やす。
 - ・専門職の就職が各教員ではあくしているので一括でみられるようにしてほしい。
 - ・印刷・コピーについて、学生が柔軟に使えるように変更してほしい。

-
- ・合研の広さを専修の人数に応じたものにしてほしい。
ex. 国語科と英語科の合研のせまさ
 - ・部屋の環境を整備してほしい。
ex. 排水パイプから悪臭がしたり水がたまらないことがある。
 - ・パソコンの使用できる部屋の増加を求む。
授業などで使えなくなることが多々あり、図書館などは遠い。

- ・印刷機の利用をもっと広げてほしい。
ex. 鍵がかかっているし、コピー機などを別に置いてはどうか？
- ・3号館トイレの早急な改修。
- ・掲示板とWeb 掲示板の内容を同一のものにしてほしい。
- ・教育実習後の実践省察研究・事後指導のこと。内容の充実を。(ギムだから行っているという感じがある)
- ・教育学部と他学部の午後の時間を合わせてほしい。
- ・授業評価の方法を統一してほしい(現在どうなっているのか?)。
- ・休日の入館について、現在どうなっているのか?(許可される理由とそうでない理由の差はあるのか?)

授業

- ×教科書を購入したが使用することがない。金銭面が.....。
- ×声が小さくて聞き取りづらい。マイクを使用しないため、何を話しているか分からない教授がいる。
- 教育システム論の授業はグループ討論等の時間がありよかった。

カリキュラム

- ・英語圏の大学との協定も結んで欲しい。
- ・授業の選択をすることができない。(卒業条件を考慮すると取る授業が決まってしまう)。

就職

- ・会社の面接とテストがかぶった時に、先生によって対応が違くと就活に専念できない(特に最終面接時は、面接優先してもらえるように大学で決めて頂けたら)。

環境

- ・研究室のPCを新しくしてもらいたい(ネットが使えない)。
- ・Web上の掲示板と図書館の前にある掲示板とで内容に違いがある。統一して欲しい。

【資料3】

学生モニター会議のまとめ

平成20年度学生モニター会議での議論はおおよそ以下のような内容にまとめられる。

□授業内容について

教員の授業に望む姿勢について複数の意見が提出された。ごく一部であろうが、授業開始時刻になっても教室に出向かない教員、授業に教科書を指定し購入させておきながら、ほとんど授業で使用しない教員、授業時の声が小さすぎる教員など、が挙げられている。これら学生から指摘された内容は、教員の授業に臨む姿勢を改めて喚起する必要があることを示唆している。また、授業内容に関し、記憶に残る印象的な授業が少ないとの意見が出された。一方、学生から好評価を得ているものもある。特にグループ討論形式の授業は学生から好評であった。学生の満足度の高い、あるいは評価の高い授業が必ずしも良い授業とは言い切れない。しかしながら、我々教員は、一定レベルの授業内容を維持しつつ、学生がより理解しやすく、興味関心を抱くような授業が行えるよう努力する必要があることを肝に銘じておく必要がある。

□学習環境について

合同研修室の整備状況の差に関する意見が多く提出された。現在教育学部では、建物の改修工事を含め、学生の学習環境の改善を進めている。いまだ、計画途上であるため、コースや専修によって、合同研修室の整備状況に差が認められるのが現状である。しかしながら、順次整備は進んでいるので学生にも理解してもらう必要がある。一方、合同研修室の使用法や環境などはコースあるいは専修ごとに異なる。コースあるいは専修により、合同研修室内のパソコン環境が充実しているところがあったりそうでないところがあったりする。これはコースあるいは専修固有の問題であるので担当の教員とよく相談してもらい、環境整備を進めていく必要があろう。

□カリキュラムについて

複数免許を取得しようとする場合、時間割調整が困難な状況があることが指摘された。また、授業履修に選択の余地がほとんど無いことも指摘された。これらは、授業内容が多岐にわたる教育学部特有の問題である。開講授業科目を整理して履修方法・複数免許取得の筋道を明確化させるのか、あるいは学生の興味関心に応えるため授業選択の余地を広げるべきか、今後さらに検討する必要があるが、にわかに対応できる問題ではない。当面の対処方法は、学生に対し、きめ細やかな履修指導を心がけることである。

□就職支援について

学生から教員採用試験および一般就職試験への対応をしてほしい旨の意見が寄せられた。教育学部ではこれまで学生就職委員会を中心に教員採用・一般就職ともに、対策には力を入れてきている。にもかかわらず学生から上記のような意見が提出される背景を真剣に考える必要があろう。学部側の就職対策講座等開催の一層のPR、学生側の将来に関する意識の向上など、お互いにさらなる情報の共有がせまれる。

□施設の使用について

施設の使用に関しては、学生に規則や利用方法などの情報提供をする必要がある。しかしながら、多くの場合、施設の使用に関する利用方法については、入学時に配布する「学生生活の手引き」に記載されていることが多い。まずは「学生生活の手引き」をよく読んでもらいたい。また、カギの貸出や印刷機の利用に対する事務部の対応に関しては、改善する余地があるようであるならば、工夫をお願いするところである。